

令和元年 月 日
草津町町長 黒岩 信忠様

時間湯の健全な保存に関する要望

時間湯を愛する私たちは、現在の伝統的入湯の存続を切に願います。お湯と湯長と湯治客の3つがあつての時間湯です。

上毛かるたに「くさつよいとこ薬の温泉(いでゆ)」とうたわれているように、古来より草津温泉は訪れる人を癒し続けてきました。その長き伝統を受け継いでいるのが時間湯です。湯もみに3分入湯法など長きにわたる経験則から培われた伝統は、お湯と湯長と湯治客があって初めて成立します。湯長がいなければ湯治に特化したお湯が作れず、お湯がなければ湯治はできず、せっかくお湯を作ってもお客がいなければ湯治はできません。

新聞報道では湯長を廃止し、時間湯は無料で開放するとの内容が書かれていますが、無料化は賛成です。しかし、温度を下げただけの湯長が作らないお湯に入っても湯治としては全く意味がありません。140年以上連綿と受け継がれてきた伝統も一度途絶えてしまえば取り戻すことは困難を極めます。

どうか関係各位とご協議いただき、このままの時間湯を保存できる道筋を模索してはいただけないでしょうか。何卒宜しくお願い致します。

贊同者一同

氏名

住所

[illegible]